

## 第14回「小規模多機能自治を考える雲南の集い」開催要綱 ～雲南ゼミ R1 春の陣～

### 1. 目的

雲南市をはじめ全国各地で取り込まれつつある小規模多機能自治の仕組みを内外に広め、相互に研鑽し、学びあうことにより、制度設計に活かすとともに質の高い実践組織を増やし、小規模多機能自治による協働のまちづくりを推進する全国的な運動体を形成していく。

2. 期日 令和元年6月6日(木)～6月8日(土) 2泊3日 ※原則として全日程参加。

3. 集合 6月6日(木) 11:30 中野交流センター集合(雲南市三刀屋町中野375-2)  
※中野地区「笑んがわ市」の道路を挟んで反対側付近。  
※希望者は午前中に中野地区「笑んがわ市」見学可能。

4. 場所 島根県雲南市内各地

5. 主催 雲南市に地域自治を学ぶ会(略称:雲南ゼミ) ・ 雲南市

### 6. 開催内容

(1) 地域自主組織への視察・取材(6/6～6/7 @各地区交流センター)

雲南市の地域自主組織を訪問し、視察・取材をする。合計6地区を2班に分かれて訪問し、うち4地区については、取材結果をもとに、参加者で訪問先の紹介CM(スライドショー)を作成する。(H28春から開始。今回7回目で、すべての組織のCMが完成する予定。紹介CMは、小規模多機能自治の推進のため地域とゼミ生の相互に活用。)

※「地域自主組織」とは…雲南市の小規模多機能自治組織の名称。市内全域に30組織。

(2) 地域自主組織向け研修会への参加(6/6夜@海潮交流センター, 6/8午前@加茂交流センター)

6/6「地区計画の策定」、6/8「組織運営」をテーマとして、川北秀人さんを講師に研修会を開催する。この研修会での学びを、それぞれの参加者の地域に活かしていく。

(3) ディナーショー(6/7夜@入間交流センター)

完成した紹介CMの上映等や、地域自主組織への取材での学びを共有するとともに、参加者がそれぞれの地域で実践している取り組みを紹介しあい、意見交換を行う。(食事をとりながらの開催)

7. 参加対象 別紙の会則(雲南ゼミ八則)に賛同し、上記の開催内容に積極的にご参加いただける方であれば、どなたでも参加可能。

## 8. 行程

- 6月6日(木) 10:00～11:20 「笑んがわ市」見学 ※希望者のみ、随時集合  
11:30 集合（中野交流センター／雲南市三刀屋町中野 375-2）  
11:30～13:00 昼食・オリエンテーション（弁当@700円/人・要予約）  
13:30～15:00 現地視察・取材  
（A班：鍋山地区・資料代@2,000円/人）  
（B班：新市地区・資料代@1,000円/人）  
15:30～17:00 現地視察・取材  
（A班：飯石地区・資料代@1,000円/人）  
（B班：佐世地区・資料代@500円/人）  
17:30～18:45 入浴&軽食（桂荘・入浴料各自負担）  
19:30～21:00 スポット研修（海潮地区・講師：川北秀人さん）  
22:00～ 夕食（宿舎にて@3,500円/人・飲物付）  
紹介CM作成・宿泊（@1,800円/人）
- 6月7日(金) 7:30 朝食（@700円/人）  
8:30 出発  
9:30～11:00 現地視察・取材  
（A班：加茂地区・資料代@500円/人）  
（B班：塩田地区・資料代@500円/人）  
12:00～13:00 昼食（「食事処おくい」焼き鯖ずし定食@1,100円/人）  
13:30～16:00 地域支援者研修（雲南市木次総合センター・講師：川北秀人さん）  
雲南市職員等対象研修  
ゼミ生は同施設内で紹介CM作成（研修の見学も可）  
16:30～17:30 入浴（おろち湯ったり館・入浴料各自負担）  
18:30～19:30 夕食（宿舎にて@3,500円/人・飲物付）  
19:30～22:00 紹介CM作成（宿舎にて）  
22:00～ ディナーショー・交流会  
宿泊（@1,800円/人）
- 6月8日(土) 7:00 朝食（@700円/人）  
8:00 出発  
9:30～11:30 スポット研修（加茂地区・講師：川北秀人さん）  
終了次第、現地解散

※上記の時間は、変動する場合があります。

**【宿舎】「人間交流センター」**所在地：雲南市掛合町入間 498-5 / TEL 0854-62-0403

1泊2食@6,000円（夕食は飲物付）

※宿泊部屋は個室ではありません。シャワーあり。（シャワー使用料 @200円）

※アメニティグッズ（歯ブラシ、タオル、寝間着等）はないので各自ご持参ください。

※Wi-Fi 環境あり。

9. 紹介動画 取材先地域の紹介CM作成のため、パソコン、カメラ等をお持ちの方はご持参ください。  
作成いただいたCMは、6/7のディナーショー及び6/8のスポット研修で披露する他、ゼミ終了後、地域自主組織参集の各種会合等で紹介します。
10. 参加費 実費のみ  
※資料代・宿泊費・食事代は、当日オリエンテーションの際にまとめて集金します（全行程参加総額：16,550円）。現地までの交通費等の旅費及び入浴料等は別途各自でご負担ください。
11. 定員 先着30名
12. 申込〆切 令和元年5月30日(木)
13. 申込先 Facebookグループページの申込フォームからお申込みください。  
→<https://forms.gle/WvdvPD53kYCC17Gu9>  
初めて参加される方は登録が必要になりますので、雲南市政策企画部地域振興課（担当：大谷・山本）までご連絡ください。
14. 交通機関 ※集合場所の中野交流センターまでの所要時間は次のとおりです。  
・鉄道 … JR宍道駅から車で約35分。（特急停車駅）  
※最寄り駅はJR木次駅（市役所から1.6km程度）ですが、本数が限られます。  
・空港 … 出雲縁結び空港から車で約40分。  
・車 … 松江自動車道 三刀屋木次ICから約15分。  
※別添概略図を参照。
15. お問い合わせ先  
雲南市役所政策企画部地域振興課  
担当：大谷・山本  
住所：〒699-1392 島根県雲南市木次町里方521番地1  
電話：0854-40-1013  
FAX：0854-40-1019  
Mail：大谷) otani-goro@city.unnan.shimane.jp  
山本) yamamoto-shohei@city.unnan.shimane.jp



## 雲南市に地域自治を学ぶ会 会則

1. 名称 雲南市に地域自治を学ぶ会（略称：「雲南ゼミ」。）
2. 目的 少子多老化が世界で最も早く進んでいる日本において、持続可能な地域づくりに向けた小規模多機能自治を、先駆的に、真摯に、謙虚に、そして着実に進めていらっしゃる雲南市の地域自主組織のみなさまから学び、私たち自身が真摯に、謙虚に、そして着実に、それぞれの地域で実践する。
3. 目標 2012年11月の計10名の訪問を第1回として、2015年11月（雲南市発足10年）までの3年間に、計5回から7回程度の「現地ゼミ」を開催し、計100名程度のゼミ生を輩出して、全国各地で共有・展開する。（波及的な効果として、ゼミ生との交流・事例紹介によって、雲南市内の地域自主組織のみなさまにも、ヒントや元気を与えられることを期待する。）
4. 対象 下記の「(仮称) 雲南ゼミ 八則」に事前に賛同署名した自治体行政職員、地域自治に取り組む団体の役員など。
5. 雲南ゼミ 八則
  - 一つ。学ぶ：雲南市の地域自主組織をはじめとする、持続可能な地域づくりに向けた小規模多機能自治の取り組みを、真摯に、主体的に学ぶこと。
  - 二つ。動く：雲南市などから学んだ取り組みを、自らの地域で実践するために、「人がいない」「金がない」「時間がない」など言い訳を言わずに、自ら積極的に動くこと。
  - 三つ。伝える：雲南市などから学んだ取り組みが、着実に広がるように、要点を効果的にまとめ、自らの地域はもとより、他の地域にも伝えること。
  - 四つ。促す：雲南市などから学んだ取り組みが、自らの地域はもとより、他の地域でも実践されるように、地域の人々が動き出し、歩き続けるよう、真摯に、決して諦めずに、促すこと。
  - 五つ。仕組みをつくる：雲南市などから学んだ取り組みが、着実に続くように、法令や事業、予算措置をはじめ、交流や感謝の機会を設けるなど、仕組みをつくること。
  - 六つ。手伝う：雲南市はもとより、他の地域においても、地域自治が進み、広がるために、本ゼミの仲間の取り組みを手伝うこと。
  - 七つ。挑む：雲南市などから学んだことを取り入れるだけではなく、独自の試みや新しい切り口を織り込み、地域のより良い未来のために、挑むこと。
  - 八つ。集う：雲南市内はもとより、自らの地域や、他の地域においても、持続可能な地域づくりに向けた小規模多機能自治を進める取り組みのために、機会を設けて、集うこと。
6. 活動内容
  - (1) 雲南市内での研修（2泊3日程度、年2回程度）

先進的な地域の視察や、「元気な地域づくり発表会」等への参加
  - (2) 各自の地域における取り組みの推進

持続可能な地域づくりに向けて、小規模多機能自治を進めるために、仕組みづくりや人材育成を体系的に進める。
  - (3) facebook などでの随時発信
7. スケジュール 毎年5月と11月の年2回開催（第1回は'12年11月に実施済、参加者9名）  
※これ以外に随時、各自の地域でのサテライトゼミも開催する。
8. 収支
  - ・現地集合とし、係る旅費は各自負担を原則とする。
  - ・現地での費用（資料代等）は、原則として参加者の均等分担とする。なお、幹事は現地ゼミに可能な限り参加し、交流会を盛大なものとするよう、予算の確保や、各自での積み立て（「雲南ゼミ基金」）を行うこと。
9. 体制 自らも小規模多機能自治の担い手であるとの自覚のもとに、自ら進んで一人一役を担当すること（全員が何かの役割を担当する幹事となる）。  
**【事務局担当幹事； I I HOE [人と組織と地球のための国際研究所] 川北秀人】**